

不況打開・くらしと雇用を

守る秩父集會！

二月二〇日、秩父市婦人会館で集會がもたれ、その後集會参加者は（一五〇人）寒風の中市内をデモ行進し、市民にアピールしました。主催者挨拶で「国会論戦で安倍総理は、3本の矢でデフレ経済を立て直す」と主張しているが、いくら市中にお金を供給しても働く人の所得を増やさなければ、経済は改善されません」と強調していた。大企業が貯めこんでいる内部留保（約260兆円）の一部をつかって賃上げにまわすことがマスコミでも取り上げられて、国会の論戦から、安倍総理や麻生財務大臣も認めました。集會では、秩父生協病院労組、埼教組秩父支部、埼玉土建秩父支部、秩父民商工会、放射能からみんなの健康といのちをまもる秩父の会、日本共産党秩父郡市議員団、から取り組み状況の報告と決意が述べられました。国民的な運動で安倍内閣を攻めましょう。



(十二) 皆野・親鼻界限

一月三日朝、大宮郷を退去した困民党は午前九時頃皆野に入り、野口タツ経営の旅籠「角屋」を本陣として、親鼻・栗谷瀬・大浜三方の渡し場を固める守備体制を布きました。困民党軍の総数は二〇〇〇余人と記録されています。翌四日午後、田代栄助・井上伝蔵など幹部が相次いで本陣を「離脱」する「皆野本陣の解体」があり、下小川陣地から粥仁田峠に向う落合寅市隊、皆野から本野上に向う大野又吉ら金屋隊、大浜から下吉田に向う坂本宗作ら信州隊が去ると、午後五時半頃、困民党軍の姿は見られなくなりました。

この間、皆野村の被害は、皆野交番の他金子利七・松島屋（島田正平）の二戸の「家屋破壊」、小池槌蔵（戸長）・柘屋（矢尾喜兵衛）・金子谷蔵（現金子医院）他現金二〇戸、物品四三戸、その他白米一五石余など、民間の被害戸数は延べ五七戸、金額は六七六円余でした（「秩父暴徒関係書類③」、小鹿野町は三五五七円余、大宮郷は一二九六円余）。

一方、皆野村の事件参加者は「農民裁判文書」に名前が見える一三人、その他を加えると一七人です。このうち所番地が判明するのは、戦場三人、土

京六人、親鼻一人です。事件当時、皆野村は戸数三八一戸、人口一八三九人ですから参加者／戸数は約四％です。角屋 一月一日午後三時、県警は寄居から皆野に移動、角屋を前線仮本部とし、看板を掲げました。間もなく江夏本部長も角屋に入りました。

皆野町の秩父事件⑱

父事件と皆野町⑥⑦に掲載されていますので参照してください。戸長役場・交番 前記「皆野町筋」図を見ると、角屋先から県道を右に入

この夜、「皆野は秩父の要地」と言つて皆野にきたものの、いまや

「この地は危険にして鶏卵のごとし、本部を置く所にあらず」の議論が起こり、同時に、警察・憲兵隊だけでは対応できないことに気が付き、鎮台兵派兵要請を決めています。

翌二日夜中の三時、角屋を発ち、前線本部は寄居に後退しました。

なお、角屋の古い写真・一八九〇年「原の大火」当時の皆野町筋の図は、前回連載「秩

り、役場からの新道と下原交差点からの道を横切り、山中ワイシャツ店向かいで県道に合流する、ちょうど下原交差点を迂回するような狭い道があります（埼玉信用組合敷地内は消滅）。

この道が、古い秩父往還とのことです。この道の北側部分の山崎氏宅辺に戸長役場・反対側「マミー」の建物辺に交番（大宮郷警察署皆野分署）があったと記してあります。

一八八三、八、二付、吉田清英埼玉県令宛「戸長役場設置伺い」で、皆野村三代目戸長・小池槌蔵は、見取り図を添えて自宅の三間（土間と二間か）を戸長役場として使用したい「伺い」を出しています（『皆野町誌』通史編）。

「皆野町筋」の皆野村戸長役場は、秩父事件後に設置されたのでしよう。



(角屋分岐)

新米議員のひとりごと

常山 知子

「命」「い・の・ち・」重い響きです。この世に生をうけ、生きています。ある日、たった一つの命がアツという間に消えてしまったら・・・

愛する家族や、友人に別れも言えず消えてしまったら・・・三月十一日、東日本大震災で多くの尊い命が消えてしまいました。二年目のその日がやってきます。暗い気持ちで命について考えています。

一月末に、「何も聞かないで！しばらく入院します。」大好きな友からメールがありました。家族にも聞けず、ただ心配しているだけでした。

「退院しました。」と連絡があったのは三月に入ったときでした。「さよならも言えず、いつてしまうかと思つた。」と友は言う。でもよかった。尊い命を守ることができたのです。

私にとって、二度目の三月議会が始まります。今こそ一人一人の命が大切にされる政治が必要ですね。